

平成 21 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	背景放射で拓く宇宙創成の物理—インフレーションからダークエイジまで—
領域代表者名	羽澄 昌史（大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構・素粒子原子核研究所・教授）
研究期間	平成 21 年度～ 25 年度
【科学研究費補助金審査部会における所見】 本研究領域は、宇宙初期のインフレーション解明に重要な役割を果たす宇宙マイクロ波背景放射の偏光成分の B モード初検出を目指しており、その学術的意義は極めて大きい。従来国内でこの分野に取り組む研究者は欧米と比較して少なかったが、素粒子・宇宙・天文・デバイス各分野でトップレベルの技術力と経験をもつ研究者が結集し、この分野を我が国で大きく進展させ新たな展開を目指すことは、我が国における当該分野での学術水準の向上・強化につながる重要な計画である。宇宙背景放射の超精密観測やその他の手法によって、宇宙誕生時の研究と最先端の素粒子研究が一体となって多くの重要な研究が発展しつつある中、宇宙背景放射の偏光 B モード検出に着目したことは妥当な判断であり、研究目的も明確である。10 年後に衛星打ち上げを目指す長期目標のもとでの本研究領域の位置づけがなされ、研究期間内での目標・計画が練り上げられており、領域設定期間内に大きな成果があげられる可能性は非常に高いと考えられる。本研究領域は、我が国に存在しなかった学問分野を、他分野において優れた実績のある研究者が開拓しようとするものであり、今後の画期的な進展が期待される。	